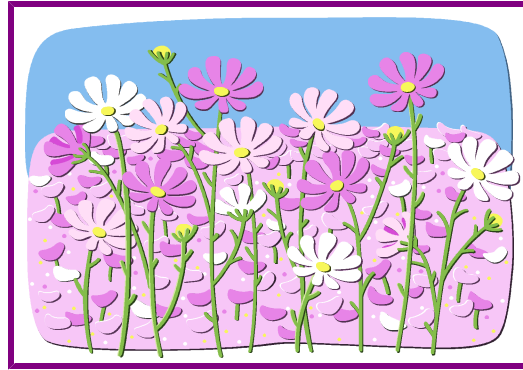


# めぐみイエス・キリスト教会

2018年9月2日(日)第一主日礼拝  
週報「通算第421号」



## 2018年標題聖句

### 使徒の働き27章22節～26節

《「しかし、今、お勧めします。元気を出しなさい。あなたがたのうち、命を失う者はひとりもありません。失われるのは船だけです。昨夜、私の主で、私の仕えている神の御使いが、私の前に立って、こう言いました。『恐れてはいけません。パウロ。あなたは必ずカイザルの前に立ちます。そして、神はあなたと同船している人々をみな、あなたにお与えになったのです。』

ですから、皆さん。元気を出しなさい。すべて私に告げられたとおりになると、私は神によって信じています。私たちは必ず、どこかの島に打ち上げられます。』》

第一礼拝	毎週日曜日	午前10時～11時
第二礼拝	毎週日曜日	午後6時～6時45分
聖書研究・祈祷会	毎週水曜日	午後6時15分～7時15分

牧師 鈴木 竜 実  
ますみ

※当教会は、モルモン教、エホバの証人(ものみの塔)、統一教会(原理福音)とは、一切関わりがありません。

◇◆◇2018年9月2日(第一主日礼拝)

第一礼拝 午前10時～10時45分

第二礼拝 午後6時～7時

司会 鈴木竜実牧師 奏楽 佐野みゆきさん

### ◎礼拝プログラム

【前奏祈祷】

【賛美Ⅰ】 新聖歌20「主の真実まことはくしきかな」p. 26

【交読文】 No.12 詩篇第33篇 p. 888

【賛美Ⅱ】 新聖歌332「主は真のぶどうの木」 p. 528

【使徒信条・主の祈り】

【先週説教】

【賛美Ⅲ】 オリジナルNo.14 「み言葉に帰ろう」

【聖書朗読】 ヨハネの福音書15章16節(新約p. 194)

【祈 禱】

【説 教】 《私があなたがたを選んだ》

【聖餐式】 (第二礼拝のみ)

【賛美Ⅳ】 新聖歌291「神の国と神の義」 p. 465

【平和祈り】

【頌 栄】 新聖歌63「父・御子・御霊の」 p. 85

【祝祷後奏】

### ※本日の聖書箇所(ヨハネの福音書15章16節)

15:16 「あなたがたが私を選んだのではありません。私があなたがたを選び、あなたがたを任命したのです。

それは、あなたがたが行って実を結び、そのあなたがたの実が残るためであり、また、あなたがたが私の名によって父に求めるものは何でも、父があなたがたにお与えになるためです。」

## ●ポイント1 「十二使徒の選び」とは？

※ルカの福音書6章12節「山における徹夜祈禱の後に」 (新約p.109上段)

6:12 この頃、イエスは祈る為に山に行き、神に祈りながら夜を明かされた。

※マルコ福音書3章13節～19節「御もとに呼び寄せられ」 (新約p.63下段)

さて、イエスは山に登り、ご自身のお望みになる者たちを呼び寄せられたので、彼らはみもとに来た。そこでイエスは十二弟子を任命された。それは、彼らを身近に置き、また彼らを遣わして福音を宣べさせ、悪霊を追い出す権威を持たせる為であった。

こうして、イエスは十二弟子を任命された。そして、シモンにはペテロという名をつけ、ゼベダイの子ヤコブとヤコブの兄弟ヨハネ、このふたりにはボアネルゲ、すなわち、雷の子という名をつけられた。

次に、アンデレ、ピリポ、バルトロマイ、マタイ、トマス、アルパヨの子ヤコブ、タダイ、熱心党员シモン、イスカリオテ・ユダ。

このユダが、イエスを裏切ったのである。

## ●ポイント2 「私があなたがたを選んだ」とは？

※イザヤ書41章8節～10節「イスラエルへの言葉」 (旧約p.1091下段右側)

※イザヤ書42章1節～6節「世(国々)への光として」 (旧約p.1095下段右側)

## ●ポイント3 「私の名によって父に求めるものは何でも」とは？

※マタイの福音書6章25節～34節「神の国とその義とを」(新約p.9下段右側)

※ヤコブの手紙5章13節～16節 「互いの為に祈りなさい」(新約p.413下段)

5:13 あなたがたのうちに苦しんでいる人がいますか。その人は祈りなさい。喜んでいる人がいますか。その人は賛美しなさい。

5:14 あなたがたのうちに病気の人がいますか。その人は教会の長老たちを招き、主の御名によって、オリーブ油を塗って祈ってもらいなさい。

5:15 信仰による祈りは、病む人を回復させます。主はその人を立たせてくださいます。また、もしその人が罪を犯していたなら、その罪は赦されます。

5:16 ですから、あなたがたは、互いに罪を言い表わし、互いのために祈りなさい。いやされるためです。義人の祈りは働くと、大きな力があります。

## ◎先週のメッセージの概要【主イエス様の戒め】

《イエス様は、「新しい戒め」を二回話されました。一回目は、「過越の食事」の最中に、突然イエス様が十二使徒の足を洗われ後に、言われたのです。「あなたがたに新しい戒めを与えましょう。私があなたがたを愛したように、あなたがたも互いに愛し合いなさい。もしあなたがたの互いの間に愛があるなら、それによって、私の弟子であることを、すべての人が認めるのです。」

そして二回目は、「ぶどうの木のとえ」を話された後に言われたのです。「私が愛したようにあなたがたも互いに愛し合うこと、これが私の戒めです。」

これは、互いに尊重し合い、そして互いに大切な存在であると思いなさい、と言う意味でもあります。

次に、「人がその友のためにいのちを捨てるという、これよりも大きな愛はだれも持っていません。」と言われました。

これは、ご自身のことを言っておられます。ここでイエス様は大切な真理を二つ教えています。一つは、「いのちを捨てる」と言うことです。このことが出来るお方はイエス様だけです。また「これよりも大きな愛は誰も持っていません。」と言われましたが、この愛を持っておられるお方もイエス様だけです。

それほど、イエス様は、十二使徒一人一人を、そして私たち一人一人を大切に思われ、愛して下さったのです。今も同じように愛して下さっています。

イエス様は、十字架刑を逃れることも、十字架から降りることも、またローマ兵たちを一瞬にして滅ぼすことも、いとも簡単にお出来になられたのです。

ゲッセマネの園の祈りは、身代わりの死を回避させようとする悪魔の誘惑との戦いであり、精神的な苦しみと、やがて味わうことになる肉体の激しい痛みとの戦いであり、それに勝利する為の祈りであったのです。

イエス様は、ご自身を救おうとする誘惑に打ち勝ち、真に「いのちを捨てられた」のです。死んで下さったのです。そして三日目によみがえられます。

イエス様は友の為に、つまり十一使徒の為に、いのちを捨てると言われました。そしてその「友」こそが、彼らであり、私たち一人一人なのです。》

## ◎お知らせ

※次回の礼拝は、9月9日(日)午前10時の第一礼拝だけとなります。第二礼拝はお休みとなります。次回祈禱会は、9月12日(水)午後6時15分です。また9月5日(水)の祈禱会は、都合によりお休みとさせていただきます。